

大田区田園調布本町41-4
<http://traube.co.jp/>
 設立/1988年6月
 業務内容/保健・衛生、妊娠・育児のコンサルタント、メディカルコンテンツ作成、社員研修の企画・運営など



女性社員インタビュー

お客様相談室
 泉 有華さん
 2003年入社



有給休暇を育児だけではなく、リフレッシュや自己研鑽にも

私は、介護と仕事を両立させたいということ、会社に相談しました。するとすぐに、「社として取り組む」という回答をもらうことができました。元々会社は働きやすい職場作りのために、さまざまなサポートをしてくれていましたが、さらに一歩踏み出してくれるということで、とても助かりました。会社からこれまで以上に取り組んでもらえる

という姿勢を見せて頂いたことで、周囲の方々に、些細なことでも、気兼ねなく相談できるようになりました。そして、有給休暇も一層、取得しやすくなりました。これからは有給休暇を介護や育児のためだけではなく、一歩進めて、リフレッシュや自己研鑽のためにも、活用できるようになればと思っています。

女性の働き方を切り拓いてきたパイオニア企業

フロントランナーの新たな挑戦

「とらうべの事業は、QOL (Quality of Life: 生活の質) の向上を第一に考えています。」

そう語るのは、とらうべの南部洋子社長。南部社長がとらうべを創業したのは、約30年前。とらうべは助産師、保健師、看護師、管理栄養士などからなる、ヘルスケアの専門家集団です。女性のための健康相談や企業の健康管理、ヘルスケア製品向けお客様相談室の運営、ヘルスケアコンテンツ作成などを担っています。従業員はすべて女性。南部社長を先頭に、働く女性の可能性を切り拓いてきた、まさに「パイオニア」と呼ぶにふさわしい企業です。

クライアントの健康管理やヘルスケアの改善を支援してただけに、自社の従業員のQOL改善には創業当初から気を配ってきました。従業員全員が女性であったために、創業期から、育児と仕事を両立できる社内環境づくりにも力を入れてきました。昨今のように、女性が活躍する職場の必要性が広く言われるようになる以前から、とらうべは働きやすい職場を実現するために、様々な取組を、積極的に挑んできたのです。



南部社長 (左) と山本副社長 (右)

フロントランナーである、とらうべに残された数少ない課題。それが、有給休暇取得率の向上でした。

とらうべでは、30分単位で有給休暇を取得できる制度を導入してきました。午前、午後といった半日単位ではなく、30分単位での有給取得を導入する姿勢からも、フロントランナーである、とらうべの本気さが伝わってきます。それでも、有給休暇の取得率を高めるには、制度の導入だけでは十分ではないのだと南部社長は訴えます。

「もともと有給休暇の取得率は低いほうではありませんでした。ですが、有給休暇の取得率をさらに高めるために、何に取り組むべきなのかを詳細に調べてみました。すると、独身社員の有給休暇取得率が低い

ことが明らかになりました。そこで、子育てや介護だけではなく、自己啓発のためにも気軽に取ってもらえるような働きかけも行うようにしました。」

有給休暇の取得率が高まれば、休みを取った従業員の担当業務を他の従業員が穴埋めすることも必要となってきます。ですが、会社が主導して従業員に何らかのルールを課す必要はありませんでした。というのも、同僚たちに負担をかけずに有給休暇を取れるようにする行動規範「両立のマナー」を、従業員同士が話し合い、自主的に定めたのです。

有給休暇取得率向上への取組が、働きやすい職場の実現だけではなく、従業員同士のチームワークを強化することにもつながったのです。

働きやすい職場に人材が集う

「理想の職場づくり」に向けたとらうべの先駆的な取組は、これだけにとどまりません。会議は子供と参加できるようにしました。定期的に従業員が集まって仕事と家庭の両立について話し合います。

その議論の過程や結果をいつでも振り返られるように、社内のイントラネットに掲載するようにしました。社内のイントラネットに掲載することで、業務や休暇で議論に参加できなかった従業員も、後から議論を確認することができます。

さらに授業参観休暇を導入しました。入社せずに行える業務に関しては、テレワークまで取り入れました。考えられる手段はすべて講じるという徹底ぶりです。

こうした、女性が働きやすい職場を実現する取組は、想定していなかった効果ももたらしています。

今、少子高齢化の進行によって、有効求人倍率は史上最高水準で推移しています。優秀な人材が十分に集まらないと、多くの中小企業が苦勞しています。ですが、とらうべは多くの中小企業が悩んでいる、時代の荒波とは無縁なようです。

「最近では、優良企業を辞めてでも、我が社に入社したいという方が増えてきましたね。」

南部社長は嬉しそうに語ります。自分らしく働ける場を求めて、優秀な女性たちが続々ととらうべの門を叩いているというのです。女性が働きやすい職場づくりは、人材採用にも大いに貢献しています。健康相談や企業の健康管理、ヘルスケア関連のコンテンツ製作を手がけるとらうべにとって、人は最も大切な財産です。

働く女性のトップランナーとして、自ら歩み続けてきた南部社長。今後は、ヘルスケアの専門性に加え、経営マインドをあわせ持つ女性管理職も育てていきたいと言います。そして、後に続く働く女性たちにエールを送ります。

「『子どもができたなら辞めなくてはいけない』と、責任ある仕事に挑むことを躊躇しては、女性は仕事を通じて成長することができません。出産も、育児も、そして仕事もやっていく。そういう気持ちを持ち続けて、仕事に取り組んでほしいですね。」

女性が働きやすい職場を作るための妥協なき取組。さらなる高みを目指して、とらうべは歩み続けています。



女性が働きやすい雰囲気のおフィス



オフィスの打ち合わせコーナー



「トラウベ」とは胎児の鼓動を聴く聴診器のこと

DATA

従業員数

●男性 0人
 ●女性 16人

平均年齢

●男性 -
 ●女性 36.7歳

平均勤続年数

●男性 -
 ●女性 4.4年

役員数

●男性 1人
 ●女性 2人

POINT!

多様な働き方をさらに発展させい!

授業参観出席休暇からテレワークまで、さまざまな仕組みを導入!

従業員の生活の質の向上と共に優秀な人材が集まるように!

GO NEXT